



話し合いをする和泉都議と葛飾区議団

「駅舎改築時はホームドア設置が標準」 和泉都議との意見交換で京成が表明

和泉なおみ都議は、12月5日、京成電鉄は立体交差化事業に向けた駅舎改築に当たって設計段階からホームドア設置を盛り込んでいく考えが示されました。

これからはホームドア設置が標準

和泉都議は、決算特別委員会の質疑を改築するときにはホームドア設置が標準で、京成電鉄が「立石駅ホームドア設置」だろうと答え、立石駅でも新駅舎に向け関係機関と協議を開始するとの設計段階からホームドア設置を盛り込むと、都が答弁したことを伝え、今後の「込みたい」とホームドアを新駅舎に

京成側は、「ホームドア設置への要 設置する予定を語

ホームドア以外の安全対策も

それ以外にも、それを改訂し徹底したこと。

○京成電鉄全体で点字ブロックの改修についてJIS規格員の研修会などを行っているものに早期に回収を行うこと。

○障害のある方には必ず駅員が、優先的に声をかけ必要な支援を行うようマニュアルが、報告されました。

お互いに声をかけあって

また、危険を感じたら躊躇せず、危険を感じたら躊躇をかける、駅員に知らせてい

国・都・区の補助を

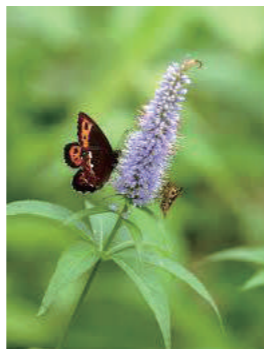
和泉都議は、東京都が「鉄道駅のバリアフリー化に関する優先整備の考え方」を9月に改訂し、駅利用人数だけでなく駅周辺の状況も優勢整備の考え方の中に盛り込み、当面、立石駅について呼びかけました。

録画見ながら拍手

11月29日の都市整備委員会で、和泉都議はオガサワラセセリの保全に関する陳情の討論に立ちました。

小笠原諸島の固有種の保全に取り組んでいる陳情者や、多摩動物公園の昆虫館の担当者などから聞き取りを行い、都に調査や保全のための取組を求めました。

後日、質疑を閲覧した陳情者から「素晴らしい質疑でした。録画を見て拍手しちゃいました」と



メツセージが届きました。

日本共産党都議会議員・和泉なおみの
生活・年金・法律相談

1月8日(水)午後2時より

於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください



日本共産党都議会議員

和泉なおみの
さわやかレポート

NO.46
2019.12

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

青砥橋のエレベーター設置問題 東京都が調査を約束

11月29日に行われた都議会環境建設委員会で、「青砥橋にエレベーター設置を求める請願」が審議されました。

この問題は、昨年暮れから和泉なおみ都議や地元のみなさんが、現地調査をおこない、実現をもとめる署名行動をおこなってきたものです。

当日の委員会は日本共産党の里中ゆみ都議が質疑を行いました。

里吉都議は、「勾配がきつく、毎日運動をしている気分」など、署名に添えられた手紙を紹介し、また、「将来子どもが生まれたら、ベビーカーを押しては渡れない」「両親ともに高齢になり、エレベーター設置は切実」といった住民の切実な声を東京都は、どう受け止めるのか、と迫りました。

これに対し東京都は「ご意見として受け止めさせていただければ…」と答えました。

さらに里中都議が、「バリアフリー化の要望が出されている橋梁の調査をする

べき」と求めると都は、「周辺の状況などを調査し、既設橋梁のバリアフリー化に取り組んでいく」と、答弁しました。請願は、残念ながら採択されませんでした。したが、今後につながる重要な一歩となりました。

オスプレイはいらない「11・24東京大集会」

和泉都議が都議団を代表して連帯挨拶

11月24日、福生市の多摩川中央公園で、「横田基地にオスプレイはいらない11・24東京大集会」が開



集会であいさつする和泉都議(11/24)

きた。全国知事会の認識の発展に押され、日米地位協定が「国の立ち入り調査権を認めないなど、我が国にとって不十分なものとなっている」と、都も認識が変わってきます。しかし、具体的な活動はしておらず、まだまだ不十分です。オスプレイが後部ハッチを開け、銃口を住民に向けた状態で飛行していた問題で、米軍が標準の訓練飛行だと回答していることに抗議もしない、などの具体例を上げて報告を行いました。そして、「日本共産党都議団は沖縄の皆さんと共に闘います。日米地位協定から日本を開放するために力を尽くす、すべての皆さんとともに闘います。ここに集まった皆さんとともに、その先頭に立つて頑張る決意を述べ、報告とします」と結ぶ

和泉なおみ都議のコメント
第一回定例会で、私が行った文書質問がきっかけとなって、署名が取りられました。地域の皆さんの切実な願いと重なって、都に調査を約束させ、さらにバリアフリー化に取り組むという重要な答弁を引き出すことができました。引き続き運動を広め、実現するまで頑張ります。

区内の都立高校訪問を終えて

和泉なおみ

葛飾区内には、6つの都立高校があります。9月末から11月にかけて

6校ともに葛飾の生徒が最も多く、就職する生徒が多いのも共通した特徴です。

ある夜間高校で、「1食380円の給食費が払えない生徒もいる」という話に、胸をえぐられました。「コンビニの100円のお菓子で夕飯を済ませ

ている」おそらく、1日のうちで栄養のある食事をとれる機会は給食だけかもしれない生徒です。「せめて、夕飯だけでも暖かく栄養のあるものを食べさせたい」という副校長の話に、目の奥が熱くなります。

どの子も、お金の心配なく学べる環境を。教職員が子どもと十分に寄り添い成長を支えることができる環境を。第4回定例議会の文書質問で求めていきます。



園芸デザイン科の授業(農産高校HPより)

